

# 都市再生整備計画(第6回変更)

た が じ ょ う ち ゅ う お う  
多賀城中央地区

み や ぎ け ん た が じ ょ う し  
宮城県 多賀城市

平成22年8月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	宮城県	市町村名	たがひょうし 多賀城市	地区名	たがひょうしちゆうおうちく 多賀城中央地区	面積	170 ha
計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度				

<b>目標</b> 大目標 安全で快適な暮らしを支える都市機能の充実 目標1 道路の新設及び改良を行い周辺地区からのアクセス性、交通安全性の向上を図る。 目標2 歩行者等の安全性、快適性向上を図るために、広幅員の歩道新設、改良を行い、開放的な空間を整備する。 目標3 地域住民が安心して快適に利用できる憩いの空間を創出する。	
<b>目標設定の根拠</b> まちづくりの経緯及び現況 <ul style="list-style-type: none"> <li>多賀城市は宮城県東部に位置し、県庁所在地仙台市と、県内第二の都市石巻のほぼ中間に位置している。市の中心部はJR東北本線、仙石線、国道45号、主要地方道仙台塩竈線が通る交通の要所であり、市南部には宮城県が国際工業港として整備を進める仙台港がある。</li> <li>近年、多賀城市の中心市街地や周辺の開発が進んでいる。地区東側のJR仙石線「多賀城駅」周辺では、平成23年完了予定の連続立体交差事業と連携し、旧市街地の活性化のため多賀城駅周辺土地区画整理事業が平成24年の完了を目標に施行中である。</li> <li>また、平成13年開業したJR新駅「国府多賀城駅」周辺は、駅に隣接した南西側で城南土地区画整理事業が平成17年度に完了し、新しい「まち」が形成されつつある。</li> <li>この両地区に挟まれた形で既存の住宅地が形成されている。この地域の住民には駅周辺の新たなまちづくりに取り残されるのではないかという危機感がある。</li> <li>JR2駅の周辺整備が進む中、既存の住宅区域内の道路や歩道の整備が遅れ、地区間の安全なアクセスやネットワークが十分でない。地域住民からは、安全性への要望が多く、観光客などの来訪者からは利便性の向上が求められている。</li> <li>これら改善の一助として、多賀城市では(都)高崎大代線街路事業、まちづくり総合支援事業(城南地区、多賀城駅周辺地区)、宮城県ではJR仙石線連続立体交差事業や(都)玉川岩切線街路事業を実施している。</li> <li>多賀城の創建は神亀元年とされており、多賀城は東北地方の国府として整備され、当該地区の北西側は、「特別史跡多賀城跡」、「多賀城廃寺跡」、「壺の碑」ともよばれ日本三古碑の一つに数えられている「多賀城碑」などの歴史的遺産は豊富にあり、隣接する東北歴史博物館等を含め観光拠点となっている。</li> <li>観光拠点の一つである東北歴史博物館の来館者は年間114,000人となっている。</li> <li>これら歴史的背景の保全のために、多賀城市では中央公園整備事業を計画中で、事業完了した城南土地区画整理では、歴史を感じさせる政庁大路線など公共施設等の整備を行っている。</li> <li>また、市観光協会では観光客やビジネス客等のためレンタサイクルを実施しているが、通行の安全性や利便性の問題から利用者が少ない。</li> <li>近年では、核家族化が進み、地域の交流なども簡素なものとなっている中、住民からは既存公園で憩いの場、交流の場として整備することが望まれている。特に城南区画内は公園スペースは確保されているものの、ベンチや遊具が未整備で利用者が少ない。</li> <li>また、その他の地区内公園は水洗トイレがないため、不衛生であることから長時間利用する人が少なく、明るい雰囲気ではない。</li> <li>地域住民や来訪者が利用できるトイレの整備を求められている。</li> </ul>	
<b>課題</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路幅員の狭小箇所及び未改良箇所があり通勤、通学、来街者等の地区内外へのアクセス、安全性に支障をきたしている</li> <li>地域住民の散策路、歴史的遺産などの観光拠点を回遊する整備が不十分であり安全な歩行者等ネットワークの確立が必要である</li> <li>公園など、子供たちが安全で安心して遊べる場所、住民の交流の場及び散策等の休憩場として提供する必要がある</li> </ul>	
<b>将来ビジョン(中長期)</b> 多賀城市の将来像は、都市機能の集積に応じた「拠点」の明確化、拠点間や近隣市町とを有機的に結びつける「軸」の強化、貴重な歴史や自然環境、元気な産業、豊かな生活の場といったそれぞれの「ゾーン」を適切に配置し、バランスのとれた都市空間を形成する また、これらの「ゾーン」に安全にアクセスすることができるようにする。	

目標を定量化する指標		定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値
指標	単位			基準年度	目標年度
アクセス時間	分	鉄道利用で仙台市域30分圏域を達成する	地区内から主要交通拠点(JR多賀城、国府多賀城駅)への平均アクセス時間の短縮	15	10
レンタサイクルの利用数	人/年	地区内回遊の向上を利用者の増加により間接的に把握する	市内外からの歩行者、自転車等の利用環境(安全・快適)を整える	125	200
公園の利用者数	人/日	交流人口(公園を交流の場として利用する人数)を増加する	住民の交流の場及び憩い空間を確保し利用者の増を図る	53	85

## 都市再生整備計画の整備方針等

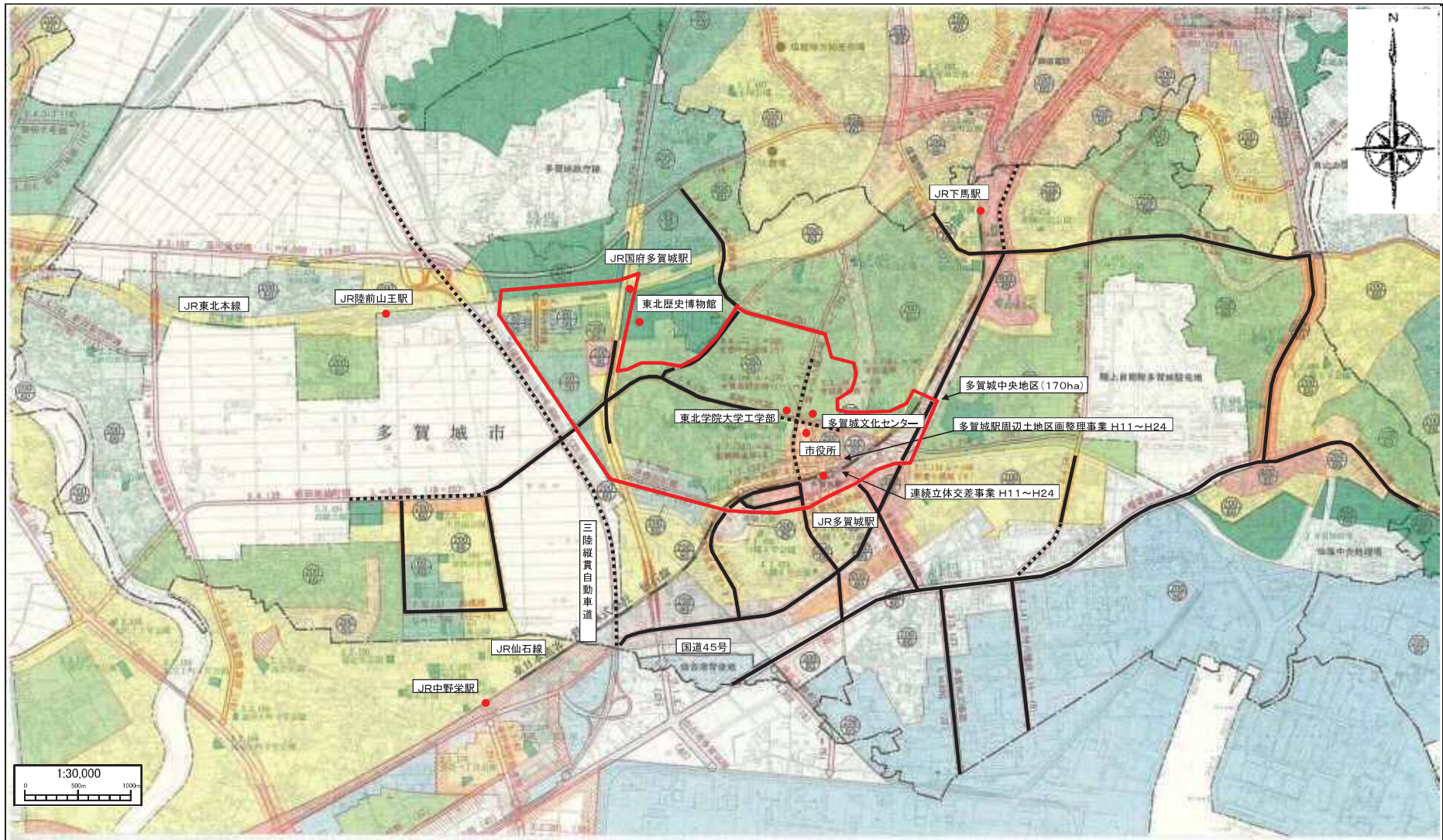
計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>道路の新設及び改良を行い周辺地区からのアクセス性、交通安全性の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基幹事業 地方道：留ヶ谷線、水の入線、志引団地十三号線外2線、大土手線、旭ヶ岡街路一号線、旭ヶ岡街路三号線、旭ヶ岡街路四号線、旭ヶ岡街路五号線、旭ヶ岡街路六号線、旭ヶ岡街路八号線、志引団地十三号線外1線、高崎大代一号線、高崎大代二号線、高崎大代三号線</li> <li>基幹事業 街路：清水沢多賀城線、高崎大代線外1線、多賀城駅前線</li> <li>基幹事業 土地区画整理事業：多賀城駅周辺地区</li> <li>関連事業 地方道：水の入線</li> <li>関連事業 街路：高崎大代線、新田南錦町線、史跡連絡線、玉川岩切線</li> <li>関連事業 土地区画整理事業：多賀城駅周辺地区、城南</li> <li>関連事業 連続立体交差事業：JR仙石線</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>歩行者の安全性、快適性を図るために、広幅員の歩道新設、改良を行い、また開放的な歩行空間の整備を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基幹事業 地方道：留ヶ谷線、水の入線、城南一丁目二十二号線外2線、志引団地十三号線外2線、志引団地十三号線外1線、高崎大代一号線、高崎大代二号線、高崎大代三号線、旭ヶ岡街路一号線、旭ヶ岡街路三号線、旭ヶ岡街路四号線、旭ヶ岡街路五号線、旭ヶ岡街路六号線、旭ヶ岡街路八号線</li> <li>基幹事業 街路：清水沢多賀城線、高崎大代線外1線、多賀城駅前線</li> <li>関連事業 地方道：水の入線</li> <li>関連事業 街路：高崎大代線、新田南錦町線、史跡連絡線、玉川岩切線</li> <li>関連事業 高次都市施設：自由通路</li> <li>関連事業 土地区画整理事業：多賀城駅周辺地区、城南</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民が安心して利用しやすい憩い空間を創出する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基幹事業 公園：鴻の池公園、高平公園、水入公園、新田中公園</li> <li>関連事業 土地区画整理事業：多賀城駅周辺地区、城南</li> </ul>
<b>その他</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>安全で円滑なアクセスやネットワーク確保により地区内の回遊性を高め、歴史的な風土を活かしながら交流と憩いの空間を作り、安全で快適な暮らしを実感できる“まちづくり”を実施する。</li> <li>道路や歩道の整備、踏切の拡幅により、市内の観光地や主要交通施設などへのアクセス性向上を図り、車の他、自転車や歩行による回遊性を高め、また、地区内の公園へのトイレ整備等を図ることにより、地域住民の憩いの場や地区外からの来訪者の休憩場所などとし、そこから人々の交流が生まれ、周辺を取りまく歴史的風土と調和した“まちづくり”を図る。</li> <li>新興住宅地区(城南土地区画整理)と駅周辺整備地区(多賀城駅周辺土地区画整理)を結ぶこの区域は、アクセス道路不足や歩道等の施設老朽化が目立ち、安全なアクセスやネットワークが十分ではないため、道路や歩道の整備を図ることにより、市内の観光地や主要交通施設などへ、車の他、自転車や歩行による回遊性を高める。</li> <li>当該地区内や周辺に点在する遺跡や公園、文化施設、市役所やJR駅などの公共施設をより有効に活用するため、徒歩や自転車によるアクセス性の向上、地域住民や来訪者の憩いの場となる空間の確保により、安全で快適な地区内環境を創出する。市観光協会で貸出をしているレンタサイクルはこの一助を為す。</li> <li>本地区の西側は、すでに完了した城南土地区画整理事業において公共施設が整備されたが、公園では子供たちが安心して遊べる遊具施設、また地区住民の交流スペースとなり、歩行者の休憩場所ともなるベンチ等の整備が望まれている。</li> <li>地区内の中央に位置する遊歩道は一部未整備であり、安全性やバリアフリーの向上を図る。</li> <li>地区北側にある、市道水の入線とJR東北本線の踏切は、狭いうえに歩道もなく、車、歩行者の往来が安全とはいえない状況である。拡幅整備することにより、安全な交通が確保されるだけでなく、周辺から地区内への流入が円滑になるほか、JR駅などへのアクセス性も向上する。</li> </ul>	





都市再生整備計画の区域

<p>多賀城中央地区(宮城県多賀城市)</p>	<p>面積 170 ha</p>	<p>区域 城南一丁目、城南二丁目の全部と中央一丁目、中央二丁目、中央三丁目、高崎二丁目、高崎三丁目、東田中一丁目、東田中二丁目、伝上山一丁目の一部</p>
-------------------------	----------------------	------------------------------------------------------------------------------------





# 多賀城中央地区(宮城県多賀城市) 整備方針概要図

目標	安全で快適な暮らしを支える都市機能の充実	代表的な指標	アクセス時間 (分)	15 (18年度)	→	10 (22年度)
			レンタサイクルの利用数 (人/年)	125 (18年度)	→	200 (22年度)
			公園の利用者数 (人/日)	53 (18年度)	→	85 (22年度)

